

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟＝FIAFは  
映画の保存を目的とする国際団体です。  
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

# Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

# 11

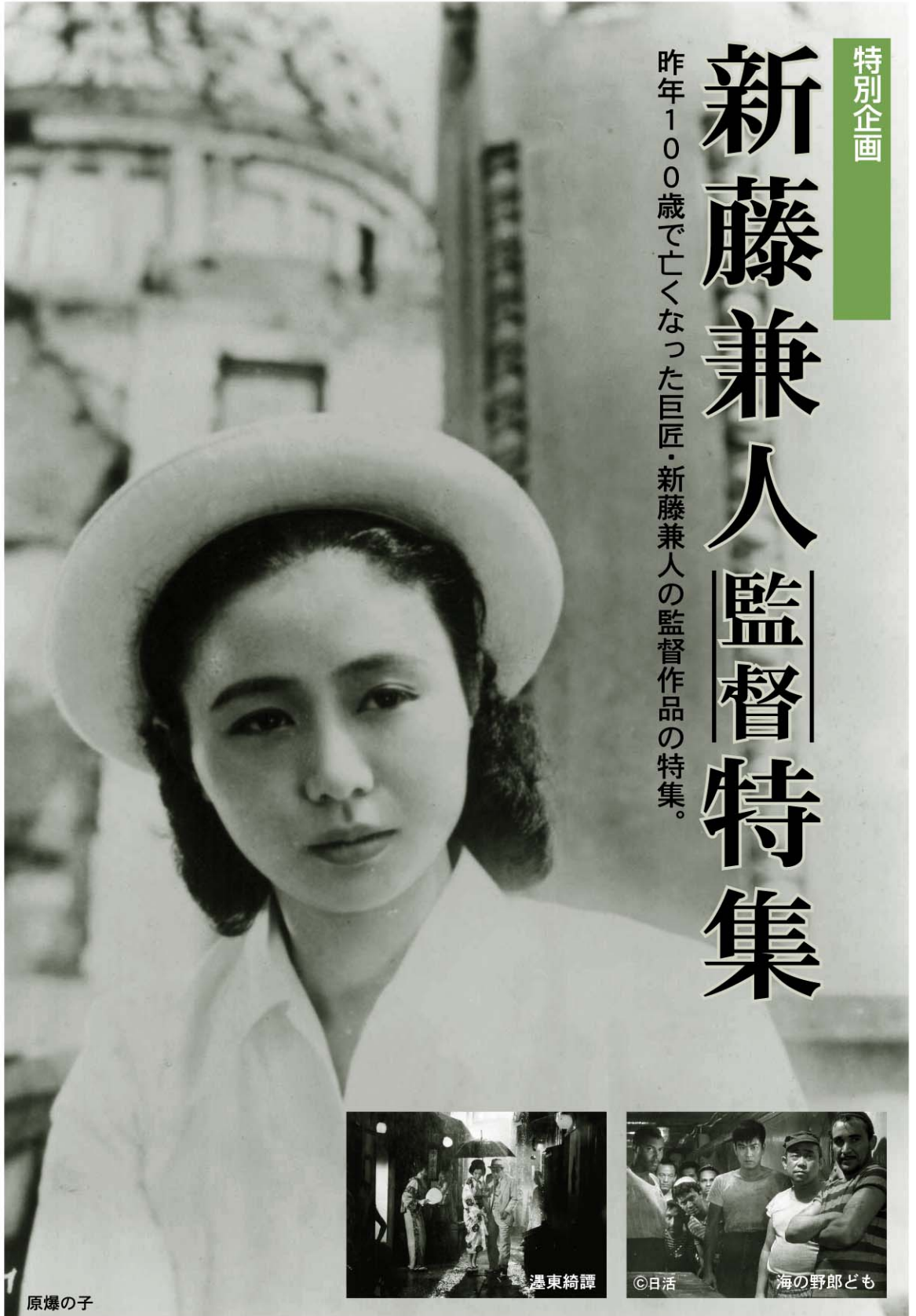
November.2013

シネラ・ニュース No.200

特別企画

## 新藤兼人監督特集

昨年100歳で亡くなった巨匠・新藤兼人の監督作品の特集。



特別企画

福岡市人口150万人突破記念

## 福岡市の歩み

懐かしの映像集



福岡市の発展の歴史や生活の移り変わりを描いた昭和の映像集。



博多港復員兵引き揚げ風景



原爆の子



日活 海の野郎ども

特別  
企画

# 新藤兼人監督特集

昨年100歳で亡くなった巨匠・新藤兼人の監督作品の特集。



午後の遺言状

会期：11月1日(金)～24日(日)

※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)  
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。  
(手帳の提示が必要です。)

1【金】  
14:00  
9【土】  
14:00  
17【日】  
11:00

## 愛妻物語



監督：新藤兼人  
出演：宇野重吉  
乙羽信子

昭和17年。若い脚本家沼崎は下宿先の娘孝子と結婚の約束をする。しかし孝子の父親が反対。孝子は家出をして沼崎の元にやって来る。東京から京都の撮影所にやって来た沼崎は、坂口監督の脚本を書くように指示される。新藤監督の監督デビュー作。新藤監督が脚本家として成功するまでを描いた自伝的な内容の作品。

1951年/35ミリ/モノクロ/97分/大映

10【日】  
15:10  
20【水】  
14:00  
24【日】  
14:00

## 一枚のハガキ



監督：新藤兼人  
出演：豊川悦司  
大竹しのぶ

昭和19年。100人の中年が召集され、彼らは掃除の仕事させられる。掃除が終わると上官がクジを引き、戦場に行く者と別の場所に掃除に行く者が決まる。フィリピンに行くことになった森川定造は生きて帰れないことを覚悟し、掃除の担当になった松山啓太に妻への伝言を頼む。そして森川は戦死。松山は生き残り、森川の妻である友子の元を訪れる。新藤監督98歳の時の作品であり、本作が遺作となった。物語は監督の実体験に基づいており、監督自身がクジで生き残った兵士である。映画に登場するハガキも監督が戦友から見せられたものだという。「裸の島」を彷彿とさせるような場面や初々しいまでの迫力ある演出、緊迫感ある俳優の演技は見る者を圧倒する。東京国際映画祭審査員特別賞を受賞した新藤監督の傑作である。

2011年/35ミリ/カラー/114分/近代映画協会



© 2011「一枚のハガキ」近代映画協会/渡辺商事/プランダス

2【土】  
11:00  
8【金】  
11:00  
14【木】  
14:00

## 原爆の子



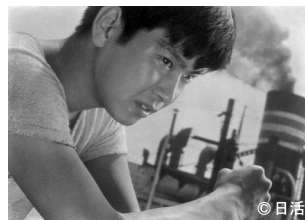
監督：新藤兼人  
出演：乙羽信子  
滝沢修

瀬戸内海の小島で教師をする孝子は、夏休みを利用して原爆で亡くなった両親の墓参りをし、かつての教え子を訪ねる。そこで孝子は昔家で働いていた岩吉と出会う。岩吉は原爆で両親を亡くした孫と暮らしていた。広島の子供たちの作文にヒントを得て新藤監督が脚本化した作品。近代映画協会の最初の作品で、新藤監督の故郷広島への思いが込められている。

1952年/35ミリ/モノクロ/98分/近代映画協会=劇団民芸

2【土】  
17:00  
8【金】  
14:00  
14【木】  
11:00

## 海の野郎ども



監督：新藤兼人  
出演：石原裕次郎  
松本染升

東京湾に大型貨物船モンロヴィア号がやって来る。船には大量の鉄くずが積んであり、荷役会社の小頭・千鳥松は大勢の作業員を雇って鉄くずを下す。一方船には怪しい連中が乗り込み、船長達と取引を始める。これを知った下級船員達が騒ぎ始める。新藤監督のオリジナルシナリオによるアクション映画だが、多種多様な民族が乗る船の設定や、船員による待遇改善の要求など社会派映画の雰囲気をも漂わせる。

1957年/DVD/モノクロ/86分/日活

2【土】  
14:00  
13【水】  
14:00  
24【日】  
11:00

## 裸の島



監督：新藤兼人  
出演：殿山泰司  
乙羽信子

瀬戸内海に浮かぶ小島に、千太とトヨの夫婦が子供と共に暮らしていた。家族は島で畑を作っていたが、問題は島に水がないことだった。夫婦は他の島から船で水を運んでおり、仕事の大半が水運びだった。電灯もラジオもない小さな島の夫婦の暮らしを、新藤監督はほとんどセリフのない、一種の映像詩として製作した。本作はモスクワ映画祭グランプリなど世界各国で絶賛され、世界で最も有名な日本映画の一本となった。

1960年/35ミリ/モノクロ/95分/近代映画協会

3【日】  
11:00  
15【金】  
14:00  
20【水】  
11:00

## 悪党



監督：新藤兼人  
出演：小沢栄太郎  
岸田今日子

14世紀。足利尊氏の執権として権勢を誇る高師直は、出雲の塩治判官の妻・顔世が絶世の美女であるという話を聞く。女好きの高師直はこっそりと顔世の湯あみをのぞき見し、自分のものにしようとする。原作は谷崎潤一郎の戯曲「顔世」。政治の権力者が軍隊を出しても奪えなかった愛と抵抗精神を描いた人間ドラマ。

1965年/35ミリ/モノクロ/119分/近代映画協会=東映映画

講演会

## 新藤兼人と独立プロダクション

10日(日)  
14:00～15:00

講師：新藤次郎(近代映画協会代表取締役)

1949年神奈川県生まれ。新藤兼人の次男。日本大学芸術科卒業後フリーのステルカメラマンとなる。三船プロダクションのプロデューサーを経て、79年田中プロダクションのプロデューサーとなる。86年近代映画協会に入社、90年代表取締役となる。主なプロデュース作品として「さくら隊散る」(88年)「午後の遺言状」(99年)「一枚のハガキ」などがある。

※開場は開演の30分前。 ※講演は有料で15時10分からの「一枚のハガキ」とセット料金です。



3 [日] 14:00  
16 [土] 11:00  
22 [金] 11:00

### 強虫女と弱虫男

監督：新藤兼人  
出演：乙羽信子  
山岸映子



©松竹

九州の炭鉱町。炭鉱が倒産し夫が失業したため、妻のフミ子は娘のキミ子連れて京都にやってくる。バーのホステスになった二人は地主の権兵衛に目をつけ、フミ子はキミ子と権兵衛を結婚させようとする。社会の中で見捨てられたような女性たちが、恥も外聞も捨てて逞しく生きる様をコメディタッチで描いた作品。

1968年/35ミリ/モノクロ/107分/近代映画協会=松竹

4 [月祝] 14:00  
17 [日] 14:00  
22 [金] 14:00

### ある映画監督の生涯 溝口健二の記録

監督：新藤兼人



新藤監督にとって映画の師匠ともいえる巨匠・溝口健二の人生と業績などを、溝口健二と共に仕事をした39人の映画人等にインタビューしたドキュメンタリー映画。新藤監督がインタビュワーを務め、田中絹代、木暮実千代、永田雅一、京マチ子といった映画界のそうそうたる人物が様々なエピソードを語る。毎日映画コンクール監督賞等受賞。

1975年/35ミリ/カラー/ドキュメンタリー/150分/近代映画協会

4 [月祝] 11:00  
9 [土] 11:00  
21 [木] 14:00

### 落葉樹

監督：新藤兼人  
出演：小林桂樹  
乙羽信子



初老の脚本家が母の思い出を小説にするため過去を回想する。兄と二人の姉、無口で頑固な父親、優しく働きの母親の幸せな思い出。しかし父親が他人の借金の保証人になったため、先祖伝来の土地を売り払ってしまう。新藤監督の少年時代を描いた自伝的な内容の作品。没落する農家の顛末が母親への思慕と共に綴られていく。

1986年/35ミリ/モノクロ/105分/丸井工文社=近代映画協会

7 [木] 14:00  
16 [土] 17:00  
23 [土祝] 14:00

### 溼東綺譚

監督：新藤兼人  
出演：津川雅彦  
墨田ユキ



大正9年。永井荷風は執筆活動をしなが理想の女性を求めていた。ある日荷風は娼婦街「玉の井」にやってくる。そこでお雪という女性と出会った荷風は、彼女の清らかな心に惹かれていく。永井荷風の原作「溼東綺譚」に「断腸亭日乗」を合わせて新藤監督が脚本化したもの。近代映画協会40周年、ATG創立30周年記念として製作された。  
※15歳未満鑑賞不可。

1992年/35ミリ/カラー/116分/近代映画協会=ATG

10 [日] 11:00  
16 [土] 14:00  
21 [木] 11:00

### 午後の遺言状

監督：新藤兼人  
出演：杉村春子  
乙羽信子



夏の蓼科高原。ベテラン女優の森本蓉子が別荘に避暑にやってくる。別荘を管理するのは農婦の豊子と娘のあけみ。そこに蓉子の古い友人の牛国夫婦が訪ねてくるが、夫人の登美江は認知症だった。「老いと死」は晩年の新藤監督の大きなテーマだった。登場するのは老人たちばかりだが、明るいタッチの作品で、日本アカデミー作品賞など数々の賞を受賞。新藤監督の代表作の一本となった。

1995年/35ミリ/カラー/112分/近代映画協会

9 [土] 17:00  
15 [金] 11:00  
23 [土祝] 11:00

### 三文役者

監督：新藤兼人  
出演：竹中直人  
荻野目慶子



新藤監督の作品に欠かせない名俳優だった殿山泰司の生涯を描いた作品。殿山泰司は近代映画協会の設立メンバーの一人であり、生涯で250以上の映画に出演、自らを「三文役者」と呼び、酒を愛し89年に肝硬変で亡くなった。本作は近代映画協会の設立50周年記念として製作されたものだが、殿山泰司の愛すべき人生にオマージュを捧げた作品でもある。

2000年/35ミリ/カラー/126分/近代映画協会

特別企画

福岡市人口150万人突破記念

## 福岡市の歩み ～懐かしの映像集～

福岡市の発展の歴史や生活の移り変わりを描いた昭和の映像集。

会期：11月30日(土)  
12月1日(日)

観覧料：無料  
※定員制。各回入替制。  
※開場は開演の30分前。

11月30日(土) 14:00～14:30  
キュレータートーク  
「福岡市人口150万人までの歩み」  
講師：野口文(総合図書館文学文書課学芸員)

11/30 [土] 11:00  
12/1 [日] 14:00

プログラムA  
昭和20年代～30年代 (約109分)

博多港復員兵引き揚げ風景  
1945年/DVD/モノクロ/サイレント/15分

博多港 波濤のかなたの記憶  
2012年/DVD/カラー/26分/RKB毎日放送

博多人形  
1952年/DVD/カラー/24分/中山太郎

子供のおもちゃ  
製作年不明/16ミリ/モノクロ/17分/共同映画社=新文化プロダクション

天神ビル 1960年/16ミリ/カラー/27分/KBC九州朝日放送

終戦後の博多港を記録した白黒フィルム「博多港復員兵引き揚げ風景」には、船舶の甲板に並ぶ大勢の復員兵たちの姿や上陸後、路上生活を送る人々の様子などが刻まれている。その記録フィルムの映像がきっかけでつくられた「博多港 波濤のかなたの記憶」は、67年経った今、高齢になった引揚者たちを訪ね、封印してきた記憶を明らかにしてゆくドキュメンタリー。名人と呼ばれた博多人形師・小島与一(1886-1970)の制作風景を取材し、2年の歳月を費やし完成させた記録映画「博多人形」。監督の中山太郎は数々の8ミリ映画の傑作を残した福岡出身の映画作家。昭和30年代に福岡市内の幼稚園や南区周辺地域で撮影された「子供とおもちゃ」は、子どもに与える玩具について考える記録・文化映画。昭和35年6月に完成した天神ビルの建設から開業までを追ったドキュメンタリー「天神ビル」。華やかなオフィスの誕生に賑わう福岡市中心街の様子が記録されている。



子供のおもちゃ

11/30 [土] 14:30  
12/1 [日] 11:00

プログラムB  
昭和40年代～50年代 (約110分)

博多山笠  
1967年/DVD/カラー/26分/KBC九州朝日放送

新博多駅本屋建設  
1964年/16ミリ/カラー/28分/電通九州支社

博多 アジアを結ぶ都市福岡ー  
1972年/16ミリ/カラー/30分/読売社

躍進する都市 ふくおか  
1980年/16ミリ/カラー/26分/ティーブイシー

新博多駅本屋建設



67年に放映された特別番組「博多山笠」。伝統ある博多祇園山笠の歴史と祭りに賭ける博多っ子の熱い想いを映したドキュメンタリー。人口約70万人の福岡市の玄関口、博多駅。「新博多駅本屋建設」は、新博多駅建設の着工から完成、開業までの工事記録。何もない平地が掘削され基礎工事が終わると鉄骨が組まれてゆく。巨大化してゆく建物の輪郭が日に日にはっきりと見えてくる。政令指定都市に昇格し、行政区として博多区が設置された福岡市の様子を記録した文化映画「博多 アジアを結ぶ都市福岡ー」。路面電車が走る市中心部の街並みや東公園、福岡城などの名所・旧跡を訪ねる。当時の福岡市の人口は約90万人。1980年、人口110万人を数えた福岡市。豊かな自然と調和のとれた美しい文化や人情を守りながら、住みよい都市を目指すべく製作された福岡市のPR映画「躍進する都市 ふくおか」。



1 金		14:00	愛妻物語
2 土	11:00 原爆の子	14:00 裸の島	17:00 海の野郎ども
3 日	11:00 悪党	14:00 強虫女と弱虫男	
4 月祝	11:00 落葉樹	14:00 ある映画監督の生涯 溝口健二の記録	
5 火		休館日	
6 水		休映日	
7 木		14:00 漣東綺譚	
8 金	11:00 原爆の子	14:00 海の野郎ども	
9 土	11:00 落葉樹	14:00 愛妻物語	17:00 三文役者
10 日	11:00 午後の遺言状	14:00 講演会	15:10 一枚のハガキ
11 月		休館日	
12 火		休映日	
13 水		14:00 裸の島	
14 木	11:00 海の野郎ども	14:00 原爆の子	
15 金	11:00 三文役者	14:00 悪党	
16 土	11:00 強虫女と弱虫男	14:00 午後の遺言状	17:00 漣東綺譚
17 日	11:00 愛妻物語	14:00 ある映画監督の生涯 溝口健二の記録	
18 月		休館日	
19 火		休映日	
20 水	11:00 悪党	14:00 一枚のハガキ	
21 木	11:00 午後の遺言状	14:00 落葉樹	
22 金	11:00 強虫女と弱虫男	14:00 ある映画監督の生涯 溝口健二の記録	
23 土祝	11:00 三文役者	14:00 漣東綺譚	
24 日	11:00 裸の島	14:00 一枚のハガキ	

25 月		休館日
26 火 ▶ 29 金		休映日

### 福岡市の歩み～懐かしの映像集～

30 土	11:00 プログラムA	14:00 キュレータートーク	14:30 プログラムB
12/1 日	11:00 プログラムB	14:00 プログラムA	



## 新藤兼人／略歴

1912年広島県生まれ。34年新興キネマの現像部に入り、後脚本を書き始め、溝口健二監督に師事する。44年松竹大船撮影所脚本部に移籍するが、同年召集され、終戦を宝塚海軍航空隊で迎える。

終戦後「安城家の舞踏会」(47年／吉村公三郎監督)などで脚本家としての高い評価を受ける。50年松竹を退社、吉村公三郎、殿山泰司たちと独立プロ「近代映画協会」を設立し、51年「愛妻物語」で監督デビューする。近代映画協会で「原爆の子」「第五福竜丸」(59年)などテーマ性の高い問題を監督する傍ら、日活や松竹などの既存の映画会社でも多くの脚本を書き、同時に監督も行う。

60年「裸の島」がモスクワ映画祭グランプリに輝き、以後「鬼婆」(64年)など実験精神にあふれた作品を製作、「ある映画監督の生涯 溝口健二の記録」はドキュメンタリー映画の傑作と絶賛される。新藤監督は「生と性」「老いと死」などをテーマに独立プロでなければできない作品を精力的に監督、「午後の遺言状」では日本アカデミー最優秀作品賞などの賞を独占、遺作の「一枚のハガキ」でも東京国際映画祭審査員特別賞を受賞、その創作意欲が衰えることはなかった。97年文化功労者に選ばれ、02年には文化勲章を授与される。2012年老衰により100歳で死去。

新藤監督は脚本家としても多作であり、脚本を提供した作品は「お嬢さん乾杯！」(49年 木下恵介監督)「しとやかな獣」(62年 川島雄三監督)「けんかえれじい」(66年 鈴木清順監督)「華岡青洲の妻」(67年 増村保造監督)などその数は230本を超えている。戦後の日本映画を代表する映画監督であり、脚本家であった。

### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 市営地下鉄  
西新駅または藤崎駅から徒歩15分
- 西鉄バス  
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分  
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話 0570-00-1010)に直接お問い合わせください。



## Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表) : 092(852)0600  
Fax : 092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ  
うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

## 第335回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日時：2013年11月29日(金) 12:00～13:00 ※入場無料  
場所：西日本シティ銀行本店 1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)  
曲目：モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲第20番ニ長調 K.499「ホフマイスター」他  
演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団  
主催：西日本シティ銀行／公益財団法人福岡文化財団(TEL 092-473-6777)

